

平成 29 年度 学校関係者評価報告書

NO. 15 市川市立南行徳中学校

		確かな学力	豊かな心	健やかな体	信頼される学校
1	実施重点	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本を重視した学習指導の充実 ICT機器の活用 家庭学習の習慣化 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育の充実によるいじめを許さない生徒の育成 教育相談・特別支援教育の充実 体験活動を通じた教育活動充実 	<ul style="list-style-type: none"> 体力づくりを意識した活動の充実 望ましい生活リズムの確立 食に関する指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価による学校運営の改善 家庭・地域との連携の推進 情報提供の充実
2	現状と課題 ○成果 ●課題	<p>○学習規律の確立では、学校内の共通取組の成果がみられる。</p> <p>○わかる授業を行うための“めあて提示”や“授業の工夫・改善”の評価が上がった。</p> <p>○家庭学習の習慣では年々数値が上昇してきた。</p> <p>●全国学力・学習状況調査の数学が、昨年比較で下がったが単年度でみると今年の3学年はよく頑張った。基礎力充実を図りたい。</p>	<p>○オレンジリボンキャンペーン(いじめ撲滅運動)は、学校図書館と連携し、全校統一の道徳を実施できた。</p> <p>○道徳教育の充実により、他にやさしく関わる生徒が増加した。</p> <p>○教育相談週間、相談アンケートの実施、カウンセラーとの連携で教育相談活動の充実を図った。</p> <p>●生徒の視点に立った教育相談のあり方や、地域の行事等への参加について検討する必要があるが見られた。</p>	<p>○生徒の危険回避能力が身につけてきた。</p> <p>○学校の安全確保や校舎内の整理整頓に関して昨年度と同様もしくは高い評価をいただいた。</p> <p>●朝食をとっていない生徒が1割弱おり「早寝早起き朝ごはん」による健康維持を充実させたい。</p> <p>●運動機会の減少と基礎体力の低下傾向がみられた。</p>	<p>○学校評価、オープンスクールでのアンケートはすぐに集計し職員にフィードバックした。改善が必要な部分はその都度指導した。</p> <p>○学校行事の案内やたよりの発行により、行事への参加しやすさで評価をいただいた。</p> <p>●ボランティア活動参加者が減少したが、受け入れ側の人数制限等の事情もある。</p>
3	具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> 国語：朝読書、漢字書き取りと週1回テストの時間確保。 数学：授業始めの5分間ドリル。 1学期末に生徒対象に授業アンケート実施。その結果を教科担任にフィードバックし授業改善を図る。 授業の始めに本時のめあてを明示し、終わりに振り返りの時間を確保する。 夏休み前に「学習支援システムeライブラリ」を各家庭に周知し活用を進める。家庭のパソコンで不登校生徒も学習できる。 ICT機器を積極的に取り入れた授業の工夫改善を図る。 「校内塾・まなびくらぶ」の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> オレンジリボンキャンペーンと道徳授業をリンクさせ効果増大を図る。 教育相談部会を現状報告の場から課題解決型の会議に移行し、不登校生徒・保護者対応、外部機関との連携を強化する。 あいさつ運動への保護者の協力を引き続きお願いする。 地域行事に生徒をボランティア参加させていただく。 	<ul style="list-style-type: none"> 共通取組(「下足箱の使い方」「チャイム前着席の徹底」「黙って静かに清掃に取り組む」)をさらに浸透させる。 ヘルシースクールの取組で、机・椅子の高さ調整を進める。アスレティックトレーナーに、けが予防について部活顧問がアドバイスをもらう機会が得る。 生活習慣チェックや残菜を減らす活動を生徒主体で実施する。 「ノー部活タイム」を毎週実施し、生徒の休養及び教員の業務軽減を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校だよりを配付日に学校ホームページに掲載する。学年だよりを全学年が月初めに発行する。 自治会を通して学校だよりを配布していただく。 ホームページの内容を保護者に興味関心を持ってもらえるように工夫する。 情報配信メールにより保護者への一斉連絡を活用する。 保護者との連携の一環として毎月の集金日に学年総務委員会(各学級保護者2名)を開催し、学年主任との情報交換を行う。 行事ごとに保護者からアンケートを取り、その結果を分析して今後の指導につなげる。
4	達成状況に○ 5：十分達成できた 1：全くできなかった	5 ・ ④ ・ 3 ・ 2 ・ 1 「確かな学力」をつける取り組みが進められたか。	5 ・ ④ ・ 3 ・ 2 ・ 1 「豊かな心」を育む取り組みが進められたか。	5 ⑤ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 「健やかな体」をつくる取り組みが進められたか。	5 ⑤ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 「信頼される学校」づくりが進められたか。
5	学校への意見	<p>【確かな学力】 ○取組として学力向上に先生方が授業の工夫・改善に力を入れている姿がオープンスクール等を見て伝わってきました。しかし、解る授業を行うための工夫を誰にわかってもらうようにするのでしょうか！？できることならクラス全員が興味を抱かせ理解できるような飽きのこない授業にしてもらいたいです。また、発達障害(LD)や注意欠陥多動性障害(ADHD)の疑いのある生徒に対する学習方法にも考えてもらいたいです。 ○学力が低い生徒の学力(基礎・基本)をもっと丁寧にお願いしたい。(長期休みなど) ○指導姿勢は向上につながると思える。 ○確かな学力の全国学力・学習状況調査に関しては、3学年対象なので毎年同じ生徒がしているのではないので数字を出しても少し違う気がします。eライブラリや校内塾などとても良い取組だと思います。</p> <p>【豊かな心】 ○オレンジリボンキャンペーンについて生徒の意見も聞きながらいろいろな方向で考えるのも良いのではないのでしょうか。 ○ボランティアは参加だけではなく、使役をする。 ○オレンジリボンをよりふくらませてください。</p> <p>【健やかな体】 ○健やかな体は家庭の指導が大事だと思います。</p> <p>【信頼される学校】 ○信頼される学校については数字が下がっているが、数字がすべてではないと思います。 ○学業を生徒に。両親にはホームページ、情報配信メールで対応する現状のまま進んでください。 ○不登校生徒に対しても学校になじめる環境を作ってもらい、保護者との連携を強化する事を期待します。 ○数値化できる範囲を広げ成果・課題の客観性を上げる。マナー・形骸化打破の工夫を。生徒の意見、職員からのボトムアップを活用。</p> <p>【その他】 ○多忙解消のためのメリハリの利いた対策の立案。ボトムアップも活用して。 ○ノー部活タイムは先生、生徒さんに有利になっていますか？先生にとって逆に時間が減ることで負担になっていませんか。 ○先生方の中でもっと情報共有してもらいたい。</p>			
6	市教委への意見	<p>○校長と教頭の同時配置転換はやめてください。 ○30年経った校舎とは思えないほどとても綺麗ですが、トイレは古さを感じます。壁の塗装や便器等、定期的な工事をお願いできればと思います。 ○学習面で生徒の中には学習障害や注意欠陥多動性障害の疑いのある生徒もいるように見受けられました。LDやADHD等の講習を多くの先生方に受けてもらい、今後の学習方法に役立ててもらいたいです。</p>			